



<https://www.j-ba.or.jp>

一般社団法人 日本民間放送連盟
東京都千代田区紀尾井町 3-23



日本民間放送連盟
The Japan Commercial Broadcasters Association



一般社団法人 日本民間放送連盟会長
早河 洋 Hayakawa Hiroshi
(テレビ朝日 会長)

1951年に民間放送が誕生して以来、全国各地の民間放送は放送法の精神に則り、地域の人びととともに歩みを進め、民主主義の発展はもとより、経済や文化の振興、平和な社会の実現に寄与することを使命として活動してまいりました。ラジオ16社で発足した日本民間放送連盟は、2026年に創立75周年の節目の年を迎え、会員社は正会員・準会員あわせて207社となります。

デジタル技術、とりわけSNSや生成AIの急速な発展により、真偽の定かでない情報や他者の尊厳への配慮を欠いた発信に接することが日常になりつつあります。放送の重要な責務は、事実を多角的な視点から捉え、取材や調査により裏付けられた情報を伝えることによって、人びとの知る権利にこたえることです。

こうしたなか、民間放送は、人権意識やコンプライアンス、ガバナンスに関して、その信頼を大きく揺るがす問題に直面しました。民放連は「民間放送ガバナンス指針」の制定をはじめとする信頼回復のための取り組みを行い、会員各社は、社会から信頼されるガバナンスを確立するための歩みを着実に進めています。

民間放送が人びとの生活を豊かにする存在であり続けるために、放送を基盤としながらインターネットも活用し、社会や地域の隅々にまで確かな情報と豊かなコンテンツを届けるべく、一層努力していく所存です。

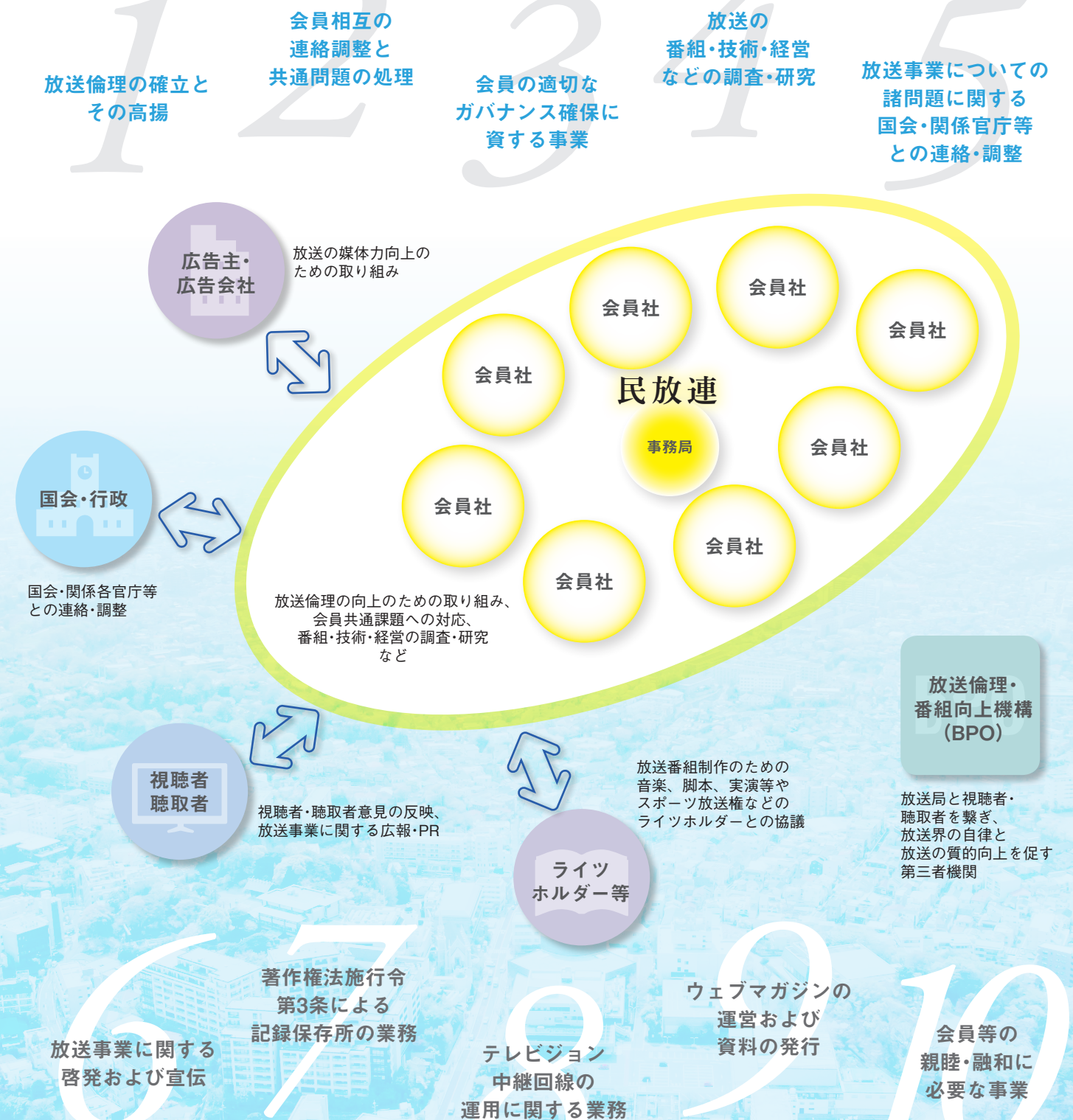
皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

日本民間放送連盟とは

日本民間放送連盟(民放連)は基幹放送事業者を会員とする一般社団法人であり、会員社207社(正会員204社、準会員3社)で構成されています(2026年9月1日現在)。

民放連の使命は、放送倫理水準の向上をはかり、放送事業を通じて公共の福祉を増進し、その進歩発展を期するとともに、会員共通の問題を処理し、あわせて相互の親睦と融和を図ることにあります。

このため、以下に掲げる事業を行っています。



民放連の主な業務

放送事業を支える

例えば、報道番組では、世の中の出来事を正確に伝えることが求められますが、取材活動が行き過ぎたものにならないように配慮することが必要です。バラエティ番組では、視聴者の関心を引くための過度の演出や表現に注意が必要です。民放連では、放送によって傷ついたり不快な思いをする方が出ないように、各社が「番組基準」を策定する際の参考として、共通のルールを「放送基準」としてまとめています。さらに、日本放送協会(NHK)と民放連が共同で設立した放送倫理・番組向上機構(BPO)の活動への協力も大切な取り組みです。

同時に、安定して放送を視聴者・聴取者の皆さまにお届けするには、放送設備・機器にも一定の基準が必要です。また、緊急災害時にも安定して業務を継続することが求められます。民放連では、こうした会員社が共有すべき考え方や指針を取りまとめたり、参考となる情報を提供し、社会から信頼される放送の実現に努めています。

また、放送番組は制作者の創意工夫や多くの関係者の協力により制作されています。関係する著作権者等の権利が守られないと、安定して番組制作ができませんし、関係者の協力が得られません。そのため、民放連では、権利者団体と様々な協定等を取り決めたり、インターネット上の違法動画などへの対策にも力を入れています。

その一方で、こうした民放連の取り組みについて、関係機関等との連絡・調整を行うほか、放送に関わる国の施策への会

員社の考え方の反映に努めています。特に、民放事業は地域ごとの免許により成り立っていますので、全国各地域に広がる会員社の考え方が反映されることが重要です。

さらに、個々の会員社だけでは対応が難しいオリンピック大会については、視聴者に円滑かつ安定して放送をお届けできるよう、NHKと共同でメディア権を獲得し、中継・番組制作についても関係者が一丸となって取り組んでいます。



A:報道番組の取材(令和6年能登半島地震) B:生放送番組の制作 C:ドラマの撮影 D:BPOの意見・提言に真摯に耳を傾けます E:各社に配付している「放送基準解説書」と「放送倫理手帳」 F:2024年パリオリンピック国際放送センター(IBC)

放送文化を育成する

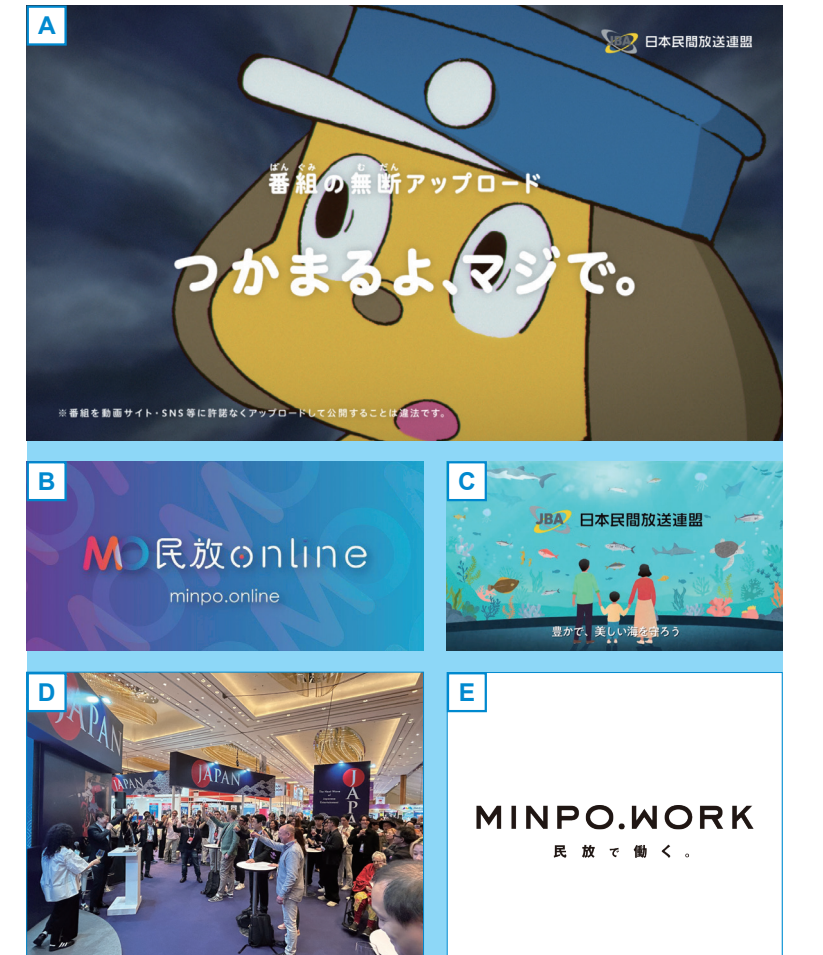
放送は時代を映す鏡であるとともに、私たちの暮らしに根付く文化そのものです。民放連では、全国各地域において創造性あふれる質の高い番組・CMがより多く制作されるよう、また、時代を先取りした放送技術の開発が進むよう、毎年、会員社を対象に「日本民間放送連盟賞」の表彰を行っています。また、こうした表彰を行うとともに、放送事業者が果たすべき使命を確認するため、毎年秋に関係者が一堂に会する「全国大会」を開催しています。さらに、私たちが育んできた放送文化を広く共有するため、放送事業に関する様々なシンポジウム等も随時開催しています。

A:「日本民間放送連盟賞」の表彰 B:受賞者に授与されるトロフィー C:会員社を対象とした各種研修会 D:各分野の専門家を招いたシンポジウム E:「民間放送全国大会」の大会式典



放送事業のPR・その他

民放事業者はCMによる広告収入を得て放送事業を行っており、より多くの方々に放送を視聴・聴取いただくことでメディアとしての価値が高まります。民放連ではテレビ放送・ラジオ放送の魅力や楽しみ方を多くの方々に知っていただくため、一般の視聴者・リスナーを対象とした各種イベント開催、PRスポットの放送など、様々なキャンペーンを随時展開しています。また、日本の放送コンテンツの海外展開に資する活動にも取り組んでいます。さらに、インターネット上に放送番組が違法に配信されていることへの対策や、地球温暖化防止など社会が抱える課題の啓発を行うほか、全国の民放テレビ・ラジオ局の採用情報ポータルサイト「MINPO.WORK 民放で働く。」を運営し、ローカル局の採用支援にも取り組んでいます。こうした民放連および会員社の取り組みは、民放連のウェブマガジン「民放online」や各種レポートで広く紹介しています。



A:放送番組の違法配信撲滅キャンペーンPRスポット B:民放連のウェブマガジン「民放online」 C:地球温暖化防止のPRスポット D:国際見本市「ATF2025」への出展 E:就活生等に向けた民放の業界研究と採用情報のポータルサイト「MINPO.WORK」

報道発表や表彰番組・実績など、詳しくは民放連ウェブサイト(<https://www.j-ba.or.jp>)をご覧ください。

より良い放送のために～民放連の役割～

放送の役割とは

きわめて高い“公共性”が求められています。

放送メディアは、番組・CMを通じて“情報”を送り届けることが活動の中心となりますので、憲法で保障された「表現の自由」を正しく行使することが求められています。これは、放送局が表現活動を行うための自由ということだけでなく、受け手側である、視聴者・国民の皆さまの「知る権利」に応えることも含んでいます。

日々の出来事や事件・事故を報道したり、災害が発生した際に、情報をただちに広く伝達するといった取り組みがこれに当たります。また、ドラマやバラエティといった、健全な娯楽をお届けするということも、放送メディアのとても大事な仕事です。

さらに、「表現の自由」を守り、かつ視聴者の皆さまから信頼してもらえるメディアであり続けるためには、放送内容について、放送局が自ら考え、自らを律していくことが求められています。

「あの番組が役に立った」「あのCMを聞いて温かい気持ちになった」といった声をたくさんいただけるよう、民放全体で努力を続けていきます。

放送メディアの公共性を保つために

では、民放各社共通の基本的考え方を示す「日本民間放送連盟 報道指針」を策定しています。

このほか、民放連とNHKが放送界全体を律する基本理念として定めた「放送倫理基本綱領」には、放送局としての使命・役割が凝縮されています。

また、民放連会員社が放送の自主・自律を堅持しつつ、人権尊重の徹底、法令や社会規範の遵守など、社会から信頼されるガバナンスを確立するため、「民間放送ガバナンス指針」を制定しています。さらに、民放連会員社が人権尊重の重要性を認識し、あらゆる事業活動を展開していくための指針として「人権に関する基本姿勢」を定めています。

放送メディアは、映像・音声でさまざまな情報をダイレクトに伝えることができるので、ほかのメディアに比べて、受け手に与えるインパクト(社会的影響力)が強いと言われています。また、放送局は、公共財である「電波」を利用して、番組・CMをご家庭に送り届けています。このため、放送メディアには、

民放連は、各民放事業者が放送法の定めに従って自主的に「番組基準」を策定する際の参考として「放送基準」を定め、民放の自律的な放送活動の拠り所となっています。2023年4月には人権意識の一層の高まりや、価値観の多様化に対応することなどを目的に、大きな改正を行いました。取材・報道に関し

放送倫理基本綱領

1996年9月19日制定

日本民間放送連盟と日本放送協会は、各放送局の放送基準の根本にある理念を確認し、放送に期待されている使命を達成する決意を新たにするために、この放送倫理基本綱領を定めた。

放送は、その活動を通じて、福祉の増進、文化の向上、教育・教養の進展、産業・経済の繁栄に役立ち、平和な社会の実現に寄与することを使命とする。

放送は、民主主義の精神にのっとり、放送の公共性を重んじ、法と秩序を守り、基本的人権を尊重し、国民の知る権利に応えて、言論・表現の自由を守る。

放送は、いまや国民にとって最も身近なメディアであり、その社会的影響力はきわめて大きい。われわれは、このことを自覚し、放送が国民生活、とりわけ児童・青少年および家庭に与える影響を考慮して、新しい世代の育成に貢献するとともに、社会生活に役立つ情報と健全な娯楽を

提供し、国民の生活を豊かにするようにつとめる。

放送は、意見の分かれている問題については、できる限り多くの角度から論点を明らかにし、公正を保持しなければならない。

放送は、適正な言葉と映像を用いると同時に、品位ある表現を心掛けるようつとめる。また、万一、誤った表現があった場合、過ちをあらためることを恐れてはならない。

報道は、事実を客観的かつ正確、公平に伝え、真実に迫るために最善の努力を傾けなければならない。放送人は、放送に対する視聴者・国民の信頼を得るために、何者にも侵されない自主的・自律的な姿勢を堅持し、取材・制作の過程を適正に保つことにつとめる。

さらに、民間放送の場合は、その経営基盤を支える広告の内容が、真実を伝え、視聴者に役立つものであるように細心の注意をはらうことも、民間放送の視聴者に対する重要な責務である。

放送に携わるすべての人々が、この放送倫理基本綱領を尊重し、遵守することによってはじめて、放送は、その使命を達成するとともに、視聴者・国民に信頼され、かつ愛されることになると確信する。

日本民間放送連盟 放送基準(抜粋)

2023年5月24日最終改正
2024年4月1日施行

前文

民間放送は、公共の福祉、文化の向上、産業と経済の繁栄に役立ち、平和な社会の実現に寄与することを使命とする。

われわれは、この自覚に基づき、民主主義の精神にしたがい、基本的人権と世論を尊び、言論および表現の自由をまもり、法と秩序を尊重して社会の信頼にこたえる。

放送にあたっては、次の点を重視して、番組相互の調和と放送時間に留意するとともに、即時性、普遍性など放送のもつ特性を発揮し内容の充実につとめる。

1. 正確で迅速な報道
2. 健全な娯楽
3. 教育・教養の進展
4. 児童および青少年に与える影響
5. 節度をまもり、真実を伝える広告

次の基準は、ラジオ・テレビ(多重放送・補完放送を含む)の番組および広告などすべての放送に適用する。ただし、18章『広告の時間基準』は、当分の間、多重放送・補完放送には適用しない。

※全文は民放連ウェブサイトに掲載 (<https://www.j-ba.or.jp>)

日本民間放送連盟 報道指針(抜粋)

1997年6月19日制定
2003年2月20日追加

民間放送の報道活動は、民主主義社会の健全な発展のため、公共性、公益性の観点に立って事実と真実を伝えることを目指す。民間放送の報道活動に携わる者は、この目的のために、市民の知る権利に応える社会的役割を自覚し、常に積極的な取材・報道を行うとともに、厳しい批判精

神と市民としての良識をもち、ジャーナリストとしての原点に立って自らを律する。この活動は、市民の信頼を基盤として初めて成立する。社会のあらゆる分野で、透明性・公開性が求められている今日、報道に携わる者の社会的使命と責任は極めて重くなっている。われわれは「日本民間放送連盟 報道指針」を、日常の取材・報道活動の道標として、不断の努力を行う。

※全文は民放連ウェブサイトに掲載 (<https://www.j-ba.or.jp>)

人権に関する基本姿勢(第2版)

2023年12月21日制定
2026年1月22日改定(第2版)

〈基本理念〉

今日、社会全体における人権意識の高まりを踏まえて、あらゆる企業に対して、事業活動全般における人権の尊重が求められるようになった。国連においては、2011年に「ビジネスと人権に関する指導原則」が採択されている。

民放連は、1951年に制定した「放送基準」の前文で基本的人権の尊重を謳い、民間放送各社は、この基準を踏まえて、番組内容の根底に人権尊重の理念を据えて公共的使命を果たしてきた。

この基本姿勢は、番組内容に関して培ってきた人権尊重の理念を、民放連会員社のすべての事業活動に反映し、その両立を図っていくためのものである。民間放送が社会から信頼されるメディアで在り続けるために、人権尊重の重要性を改めて認識し、以下の指針に沿って事業活動を展開していくことを誓う。民間放送にかかわるすべての取引先にもこの基本姿勢への賛同を求める。

〈基本指針〉

1. 人権の尊重

民間放送は、すべての人が生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等であることを理解し、すべての人の自由と基本的人権を尊重する。多様性を認め、個人の尊厳と自由が守られる社会の実現に貢献する。

人種・民族、性(性別・性的指向・性自認など)、職業、境遇(家庭環境、出身地や居住地など)、信条のほか、障害や身体的特徴、疾病などを理由としたあらゆる差別を認めない。

個人としての尊厳や人格を不当に傷つけるあらゆるハラスメント、長

時間労働や健康を害する働き方を強いることを認めない。

自らの事業活動が子どもの成長に与える影響に配慮し、子どもの権利の尊重・推進に貢献する。

2. 人権侵害の防止と是正・救済

民間放送は、自らの事業活動において人権侵害を引き起こさない、または助長しないことに最大限の価値を置く。民放連および民放連会員社は、すべての人の人権に配慮した事業活動を実践するよう、役職員への研修や啓発活動を実施する。幅広いステークホルダーとの建設的な対話を通して、すべての取引先において、民間放送の事業活動が人権侵害を助長しないように努める。また、SNSやAIなどITの進歩・普及に伴い人権侵害や差別等が発生し得ることに留意する。

民放連会員社は、自らの事業活動における人権リスク(人権への負の影響)を特定・評価し、その防止・軽減に向けた適切な措置を講じる。さらに、自らの事業活動における人権侵害にかかわる苦情を受け付け、是正・救済に資する仕組み(苦情処理メカニズム)を整え、自社に関わるすべての人が安心して声をあげられる環境づくりを目指す。

3. メディアとしての社会的責任

民間放送は、人々の生活に寄り添いながら、社会とともに歩みを進めてきた存在である。自らの番組や報道による人権侵害を防ぐだけでなく、人権問題に関する取材・報道を通じて人々の人権意識の向上に寄与することも重要な使命である。このことを自覚し、表現の自由を守りつつ、人々の知る権利に応える報道やさまざまな事業活動を通じて、すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指す。

4. 不断の見直し

人権は普遍的なものである一方、人権への意識は社会の進歩に応じて維持向上させていかなければならない。民間放送は時代の変化を鋭敏に捉えて、取り組みをアップデートしていく。

この基本姿勢は随時、見直しを行うこととする。

BPO[放送倫理・番組向上機構]

BPOは、日本放送協会(NHK)、日本民間放送連盟(民放連)、民放連加盟放送局で構成。各放送局は、3つの委員会の審議・審理等に協力するとともに、委員会から放送倫理上の問題を指摘された場合には、具体的な改善策を含めた取り組み状況を一定期間内に委員会に報告し、BPOは、その報告などを公表します。



テレビネットワーク (2026年9月1日現在)

	JNN (28社)	NNN (30社)	FNN (28社)	ANN (26社)	TXN (6社)
北海道	1 北海道放送	1 札幌テレビ放送	1 北海道文化放送	1 北海道テレビ放送	1 テレビ北海道
青森	2 青森テレビ	2 青森放送		2 青森朝日放送	
岩手	3 IBC岩手放送	3 テレビ岩手	3 岩手めんこいテレビ	3 岩手朝日テレビ	
宮城	4 東北放送	4 宮城テレビ放送	4 仙台放送	4 東日本放送	
秋田		5 秋田放送	5 秋田テレビ	5 秋田朝日放送	
山形	6 テレビユー山形	7 山形放送	7 さくらんぼテレビジョン	7 山形テレビ	
福島	8 テレビユー福島	9 福島中央テレビ	8 福島テレビ	9 福島放送	
東京	10 TBSテレビ	10 日本テレビ放送網	10 フジテレビジョン	10 テレビ朝日	10 テレビ東京
群馬					
栃木					
茨城					
埼玉					
千葉					
神奈川					
新潟	16 新潟放送	16 テレビ新潟放送網	16 NST新潟総合テレビ	16 新潟テレビ21	
長野	17 信越放送	17 テレビ信州	17 長野放送	17 長野朝日放送	
山梨	18 テレビ山梨	18 山梨放送			
静岡	19 静岡放送	19 静岡第一テレビ	19 テレビ静岡	19 静岡朝日テレビ	
富山	20 チューリップテレビ	20 北日本放送	20 富山テレビ放送		
石川	21 北陸放送	21 テレビ金沢	21 石川テレビ放送	21 北陸朝日放送	
福井		22 福井放送	22 福井テレビジョン放送	22 福井放送	
愛知	23 CBCテレビ	23 中京テレビ放送	23 東海テレビ放送	23 名古屋テレビ放送	23 テレビ愛知
岐阜					
三重					
大阪	25 MBS	25 読売テレビ放送	25 関西テレビ放送	25 朝日放送テレビ	25 テレビ大阪
滋賀					
京都					
奈良					
兵庫					
和歌山					
鳥取	32 山陰放送	32 日本海テレビ			
島根			34 TSKさんいん中央テレビ		
岡山	35 RSK山陽放送		35 岡山放送		35 テレビせとうち
香川		36 西日本放送		36 瀬戸内海放送	
徳島		37 四国放送			
愛媛	38 あいテレビ	38 南海放送	38 テレビ愛媛	38 愛媛朝日テレビ	
高知	39 テレビ高知	39 高知放送	39 高知さんさんテレビ		
広島	40 中国放送	40 広島テレビ放送	40 テレビ新広島	40 広島ホームテレビ	
山口	41 テレビ山口	42 山口放送		41 山口朝日放送	
福岡	43 RKB毎日放送	43 福岡放送	43 テレビ西日本	43 九州朝日放送	43 TVQ九州放送
佐賀			44 サガテレビ		
長崎	45 長崎放送	45 長崎国際テレビ	45 テレビ長崎	45 長崎文化放送	
熊本	46 熊本放送	46 熊本県民テレビ	46 テレビ熊本	46 熊本朝日放送	
大分	47 大分放送	47 テレビ大分	47 テレビ大分	47 大分朝日放送	
宮崎	48 宮崎放送	48 テレビ宮崎	48 テレビ宮崎	48 テレビ宮崎	
鹿児島	49 南日本放送	49 鹿児島読売テレビ	49 鹿児島テレビ放送	49 鹿児島放送	
沖縄	50 琉球放送		50 沖縄テレビ放送	50 琉球朝日放送	

独立協
(13社)

- 10 東京メトロポリタンテレビジョン
- 11 群馬テレビ
- 12 とちぎテレビ

- 13 テレビ埼玉
- 14 千葉テレビ放送
- 15 テレビ神奈川

- 24 岐阜放送
- 25 三重テレビ放送

- 27 びわ湖放送
- 28 京都放送
- 29 奈良テレビ放送
- 30 サンテレビジョン
- 31 テレビ和歌山

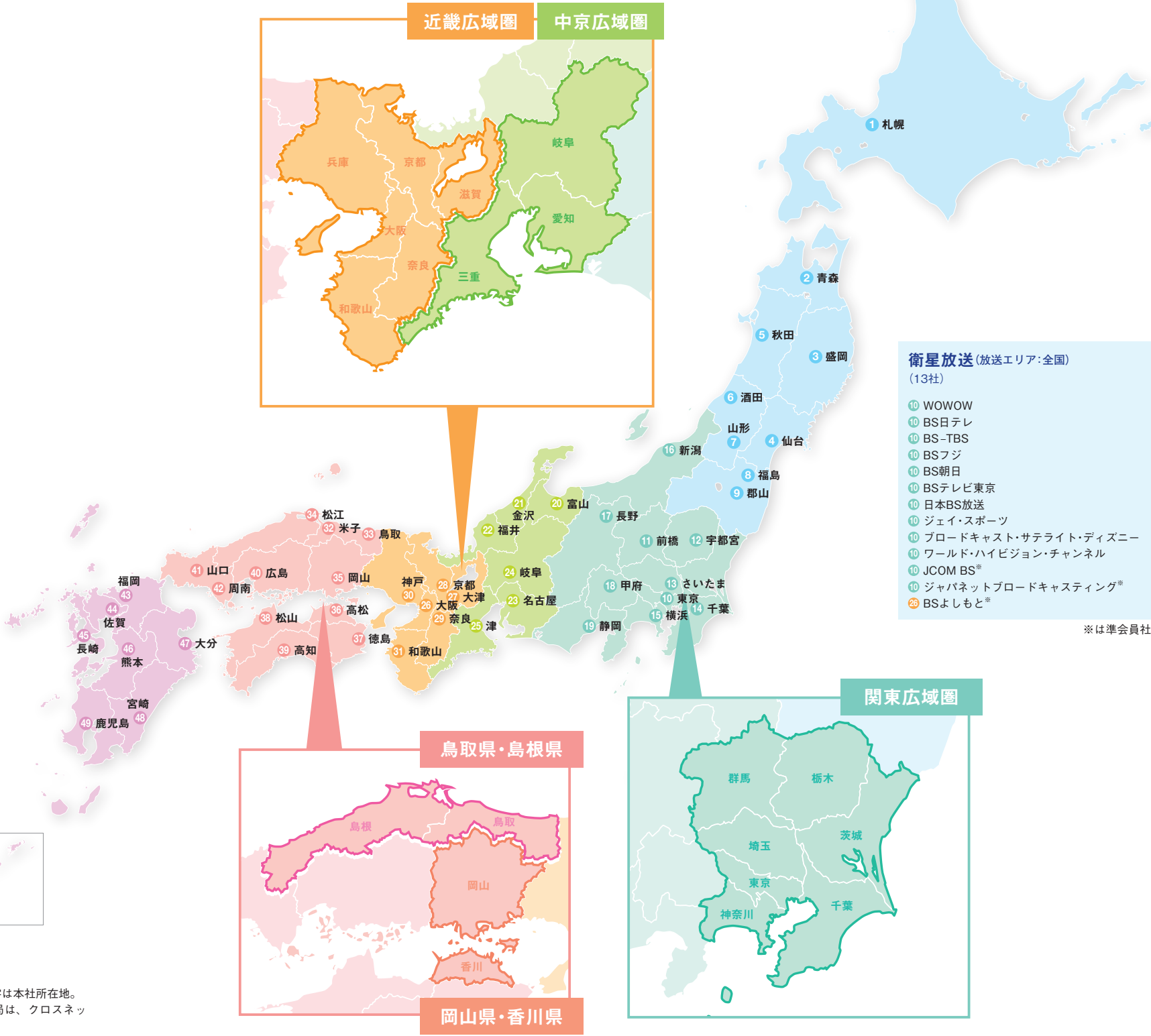


◆社名の前の数字は本社所在地。
◆白抜き文字の局は、クロスネット社です。

放送エリア

基本的には各局とも各都道府県を放送エリアとしていますが、関東、中京、近畿の広域圏および鳥取・島根、岡山・香川については、複数の都府県を放送エリアとしている放送局があります。全国のローカル局が東京(関東広域圏)のキー局を中心に全国ネットワークを形成しており、現在、日本には5つのテレビネットワーク(JNN、NNN、FNN、ANN、TXN)があります。

このほか、関東・中京・近畿地区の各都府県を放送エリアとする独立放送局があり、「全国独立放送局協議会(独立協)」を設置しています。



	JRN (34社)	NRN (40社)	JFN (38社)	JFL (5社)
北海道	1 北海道放送	1 北海道放送 / STVラジオ	1 エフエム北海道	1 FM NORTH WAVE
青森	2 青森放送	2 青森放送	2 エフエム青森	
岩手	3 IBC岩手放送	3 IBC岩手放送	3 エフエム岩手	
宮城	4 東北放送	4 東北放送	4 エフエム仙台	
秋田	5 秋田放送	5 秋田放送	5 エフエム秋田	
山形	6 山形放送	6 山形放送	6 エフエム山形	
福島	7 ラジオ福島	7 ラジオ福島	8 エフエム福島	
東京	9 TBSラジオ	9 文化放送 / ニッポン放送	9 エフエム東京	9 J - WAVE
群馬		11 栃木放送	10 エフエム群馬	
栃木		12 LuckyFM	11 エフエム栃木	
茨城				
埼玉				
千葉				
神奈川				
新潟	16 新潟放送	16 新潟放送	16 エフエムラジオ新潟	
長野	17 信越放送	17 信越放送	18 長野エフエム放送	
山梨	18 山梨放送	19 山梨放送		
静岡	20 静岡放送	20 静岡放送	21 静岡エフエム放送	
富山	22 北日本放送	22 北日本放送	22 富山エフエム放送	
石川	23 北陸放送	23 北陸放送	23 エフエム石川	
福井	24 福井放送	24 福井放送	24 福井エフエム放送	
愛知	25 CBCラジオ	25 東海ラジオ放送	25 エフエム愛知	25 ZIP - FM
岐阜			26 エフエム岐阜	
三重			28 三重エフエム放送	
大阪	29 MBSラジオ / 朝日放送ラジオ	29 MBSラジオ / 朝日放送ラジオ / ラジオ大阪	29 エフエム大阪	29 FM 802 ※2
滋賀		31 京都放送	30 エフエム滋賀	
京都				
奈良				
兵庫	33 和歌山放送	33 和歌山放送	32 兵庫エフエム放送	
和歌山				
鳥取	34 山陰放送	34 山陰放送	35 エフエム山陰	
島根				
岡山	36 RSK山陽放送	36 RSK山陽放送	36 岡山エフエム放送	
香川	37 西日本放送	37 西日本放送	37 エフエム香川	
徳島	38 四国放送	38 四国放送	38 エフエム徳島	
愛媛	39 南海放送	39 南海放送	39 エフエム愛媛	
高知	40 高知放送	40 高知放送	40 エフエム高知	
広島	41 中国放送	41 中国放送	41 広島エフエム放送	
山口	42 山口放送	42 山口放送	43 エフエム山口	
福岡	44 RKB毎日放送	44 九州朝日放送	44 エフエム福岡	45 CROSS FM
佐賀				
長崎	47 長崎放送	47 長崎放送	47 エフエム長崎	
熊本	48 熊本放送	48 熊本放送	48 エフエム熊本	
大分	49 大分放送	49 大分放送	49 エフエム大分	
宮崎	50 宮崎放送	50 宮崎放送	50 エフエム宮崎	
鹿児島	51 南日本放送	51 南日本放送	51 エフエム鹿児島	
沖縄	52 琉球放送	52 ラジオ沖縄	53 エフエム沖縄	

その他

- 9 日経ラジオ社 ※1
- 9 InterFM897 ※3
- 13 FM NACK 5
- 14 ベイエフエム
- 15 R Fラジオ日本
- 15 横浜エフエム放送
- 19 エフエム富士
- 27 岐阜放送
- 29 FM COCOLO ※2
- 31 エフエム京都
- 32 ラジオ関西
- 44 ラビエフエム国際放送

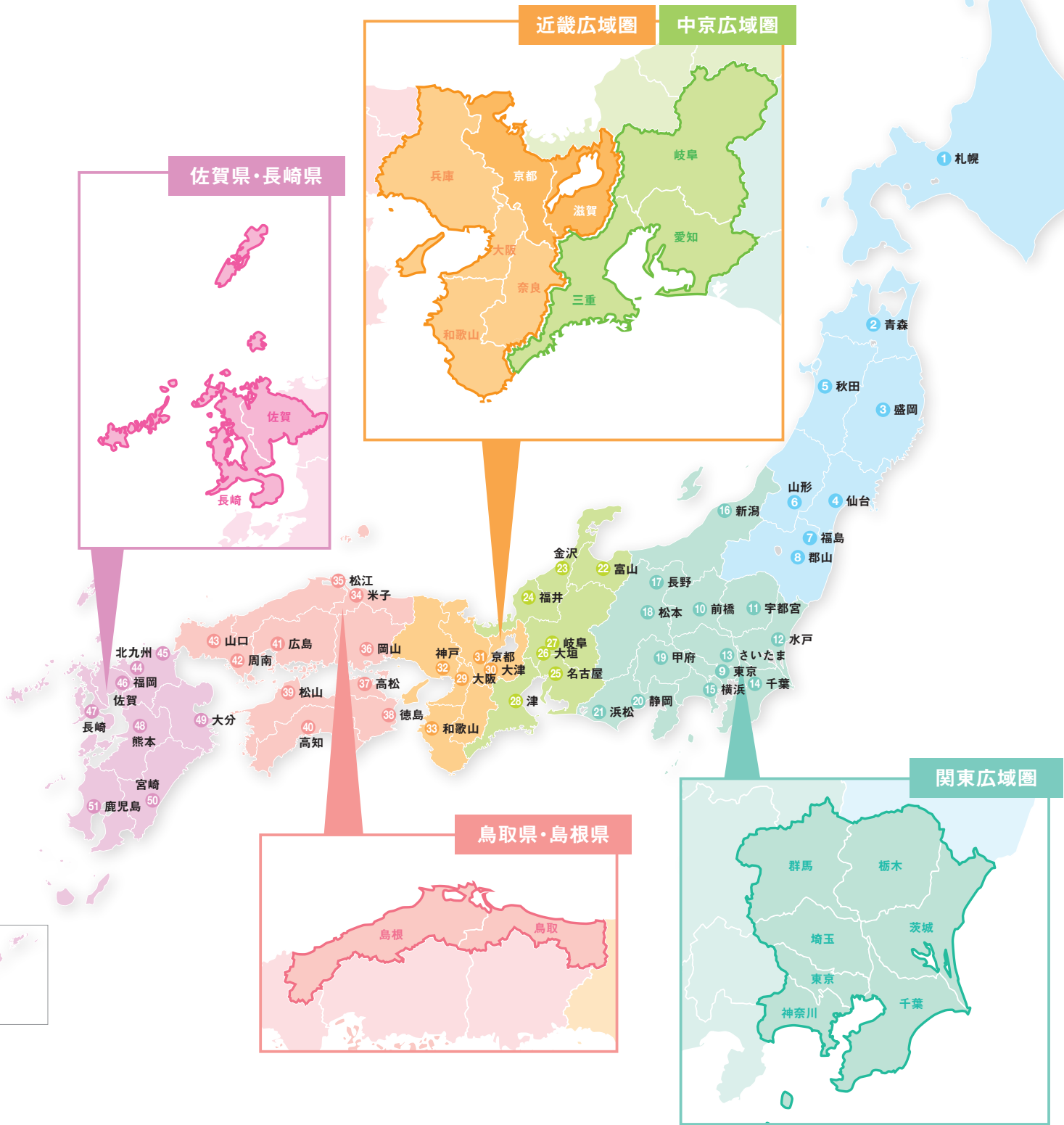
…AM・短波局
…FM局

◆社名の前の数字は本社所在地。
※1 日経ラジオ社は、全国放送(短波)です。
※2 株式会社FM802は、FM802およびFM COCOLOの両局を運営。
※3 InterFM897は、JFNの特別加盟社。

放送エリア

放送エリアはテレビと同じく各都道府県を基本としますが、関東、中京、近畿の広域圏および滋賀・京都、鳥取・島根、佐賀・長崎については、複数の都府県を放送エリアとする放送局があります。現在、日本には東京のキー局を中心とする中波2系列(JRN、NRN)、FM2系列(JFN、JFL)の4つのラジオネットワークがありますが、テレビに比べて番組制作・CMとも地域密着性が高い分、つながりは緩やかなものになっています。

このほか、ネットワークに属さない独立放送局や、全国を放送エリアとする短波放送局があります。



会員社一覧

正会員（地上放送）194社 …ラジオ単営67社（中波16社、短波1社、FM50社）、テレビ単営96社、中波・テレビ兼営31社
（衛星放送） 10社
準会員（衛星放送） 3社
計 207社

北海道・東北地区

- 【北海道】
ラテ兼 北海道放送…札幌市
テレビ 札幌テレビ放送…札幌市
ラ中 STVラジオ…札幌市
テレビ 北海道テレビ放送…札幌市
テレビ 北海道文化放送…札幌市
ラF エフエム北海道…札幌市
テレビ テレビ北海道…札幌市
ラF FM NORTH WAVE…札幌市

- 【青森県】
ラテ兼 青森放送…青森市
テレビ 青森テレビ…青森市
ラF エフエム青森…青森市
テレビ 青森朝日放送…青森市

- 【岩手県】
ラテ兼 IBC岩手放送…盛岡市
テレビ テレビ岩手…盛岡市
ラF エフエム岩手…盛岡市
テレビ 岩手めんこいテレビ…盛岡市
テレビ 岩手朝日テレビ…盛岡市

- 【宮城県】
ラテ兼 東北放送…仙台市
テレビ 仙台放送…仙台市
テレビ 宮城テレビ放送…仙台市
テレビ 東日本放送…仙台市
ラF エフエム仙台…仙台市

- 【秋田県】
ラテ兼 秋田放送…秋田市
テレビ 秋田テレビ…秋田市
ラF エフエム秋田…秋田市
テレビ 秋田朝日放送…秋田市

- 【山形県】
ラテ兼 山形放送…山形市
テレビ 山形テレビ…山形市
ラF エフエム山形…山形市
テレビ テレビユー山形…酒田市
テレビ さくらんぼテレビジョン…山形市

- 【福島県】
ラ中 ラジオ福島…福島市
テレビ 福島テレビ…福島市
テレビ 福島中央テレビ…郡山市
テレビ 福島放送…郡山市
テレビ テレビユー福島…福島市
ラF エフエム福島…郡山市

東京地区

- 【東京都】
テレビ TBSテレビ…港区
ラ中 TBSラジオ…港区
ラ中 文化放送…港区
テレビ 日本テレビ放送網…港区
ラ中 ニッポン放送…千代田区
ラ中 日経ラジオ社…港区
テレビ テレビ朝日…港区
テレビ フジテレビジョン…港区
テレビ テレビ東京…港区
ラF エフエム東京…千代田区
ラF J-WAVE…港区
テレビ 東京メトロポリタンテレビジョン…千代田区
ラF InterFM897…千代田区

- 衛星 WOWOW…港区
衛星 BS日テレ…港区
衛星 BS-TBS…港区
衛星 BSフジ…港区
衛星 BS朝日…港区
衛星 BSテレビ東京…港区
衛星 日本BS放送…千代田区
衛星 ジェイ・スポーツ…江東区
衛星 プロドキャスト・サテライト・ディズニー…港区

関東・甲信越・静岡地区

- 【群馬県】
テレビ 群馬テレビ…前橋市
ラF エフエム群馬…前橋市

- 【栃木県】
ラ中 栃木放送…宇都宮市
ラF エフエム栃木…宇都宮市
テレビ とちぎテレビ…宇都宮市

- 【茨城県】
ラ中 LuckyFM…水戸市

- 【埼玉県】
テレビ IBC岩手放送…さいたま市
ラF FM NACK5…さいたま市

- 【千葉県】
テレビ 千葉テレビ放送…千葉市
ラF ベイエフエム…千葉市

- 【神奈川県】
ラ中 RFラジオ日本…横浜市
テレビ テレビ神奈川…横浜市
ラF 横浜エフエム放送…横浜市

- 【新潟県】
ラテ兼 新潟放送…新潟市
テレビ NST新潟総合テレビ…新潟市
テレビ テレビ新潟放送網…新潟市
テレビ 新潟テレビ21…新潟市
ラF エフエムラジオ新潟…新潟市

- 【長野県】
ラテ兼 信越放送…長野市
テレビ 長野放送…長野市
テレビ テレビ信州…長野市
ラF 長野エフエム放送…松本市
テレビ 長野朝日放送…長野市

- 【山梨県】
ラテ兼 山梨放送…甲府市
テレビ テレビ山梨…甲府市
ラF エフエム富士…甲府市

- 【静岡県】
ラテ兼 静岡放送…静岡市
テレビ テレビ静岡…静岡市
テレビ 静岡朝日テレビ…静岡市
テレビ 静岡第一テレビ…静岡市
ラF 静岡エフエム放送…浜松市

北陸・中部地区

- 【富山県】
ラテ兼 北日本放送…富山市
テレビ 富山テレビ放送…富山市
ラF 富山エフエム放送…富山市
テレビ チューリップテレビ…富山市

- 【石川県】
ラテ兼 北陸放送…金沢市
テレビ 石川テレビ放送…金沢市
テレビ テレビ金沢…金沢市
ラF エフエム石川…金沢市
テレビ 北陸朝日放送…金沢市

- 【福井県】
ラテ兼 福井放送…福井市
テレビ 福井テレビジョン放送…福井市
ラF 福井エフエム放送…福井市

- 【愛知県】
テレビ CBCテレビ…名古屋市
ラ中 CBCラジオ…名古屋市
テレビ 東海テレビ放送…名古屋市

- ラ中 東海ラジオ放送…名古屋市
テレビ 名古屋テレビ放送…名古屋市
テレビ 中京テレビ放送…名古屋市
ラF エフエム愛知…名古屋市
テレビ テレビ愛知…名古屋市
ラF ZIP-FM…名古屋市

- 【岐阜県】
ラテ兼 岐阜放送…岐阜市
ラF エフエム岐阜…大垣市

- 【三重県】
テレビ 三重テレビ放送…津市
ラF 三重エフエム放送…津市

近畿地区

- 【滋賀県】
テレビ びわ湖放送…大津市
ラF エフエム滋賀…大津市

- 【京都府】
ラテ兼 京都放送…京都市
ラF エフエム京都…京都市

- 【大阪府】
テレビ MBS…大阪市
ラ中 MBSラジオ…大阪市
テレビ 朝日放送テレビ…大阪市
ラ中 朝日放送ラジオ…大阪市
ラ中 ラジオ大阪…大阪市
テレビ 読売テレビ放送…大阪市
テレビ 関西テレビ放送…大阪市
ラF エフエム大阪…大阪市
テレビ テレビ大阪…大阪市
ラF FM802^(注)…大阪市
衛星 BSよしもと^{*}…大阪市

- 【奈良県】
テレビ 奈良テレビ放送…奈良市

- 【兵庫県】
ラ中 ラジオ関西…神戸市
テレビ サンテレビジョン…神戸市
ラF 兵庫エフエム放送…神戸市

- 【和歌山県】
ラ中 和歌山放送…和歌山市
テレビ テレビ和歌山…和歌山市

中国・四国地区

- 【鳥取県】
ラテ兼 山陰放送…米子市
テレビ 日本海テレビ…鳥取市

- 【島根県】
テレビ TSKさんいん中央テレビ…松江市
ラF エフエム山陰…松江市

- 【岡山県】
ラテ兼 RSK山陽放送…岡山市
テレビ 岡山放送…岡山市
テレビ テレビせとうち…岡山市
ラF 岡山エフエム放送…岡山市

- 【広島県】
ラテ兼 中国放送…広島市
テレビ 広島テレビ放送…広島市
テレビ 広島ホームテレビ…広島市
ラF テレビ新広島…広島市
ラF 広島エフエム放送…広島市

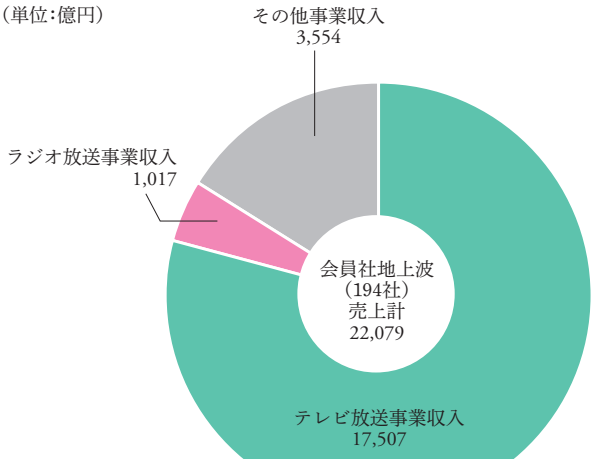
- 【山口県】
ラテ兼 山口放送…岡南市
テレビ テレビ山口…山口市
ラF エフエム山口…山口市
テレビ 山口朝日放送…山口市

- 【徳島県】
ラテ兼 四国放送…徳島市

社名…本社所在地 ラ中 …中波ラジオ社 ラ中 …短波ラジオ社 ラF …FMラジオ社
テレビ …テレビ社 ラテ兼 …中波・テレビ兼営社 衛星 …衛星放送社

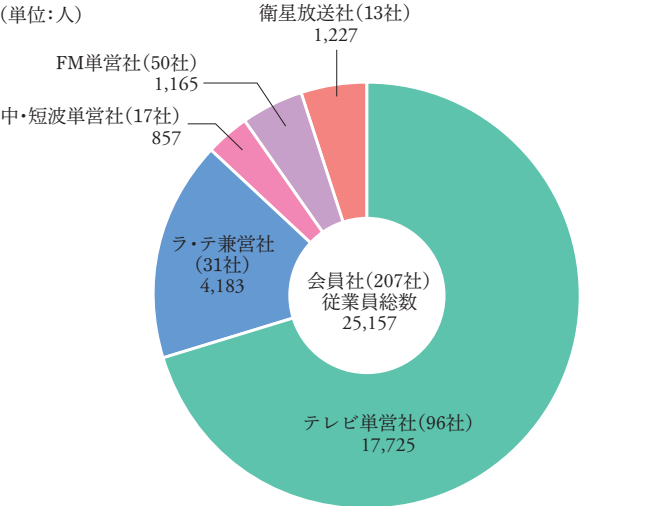
民放業界データ

民放の事業規模（地上波）



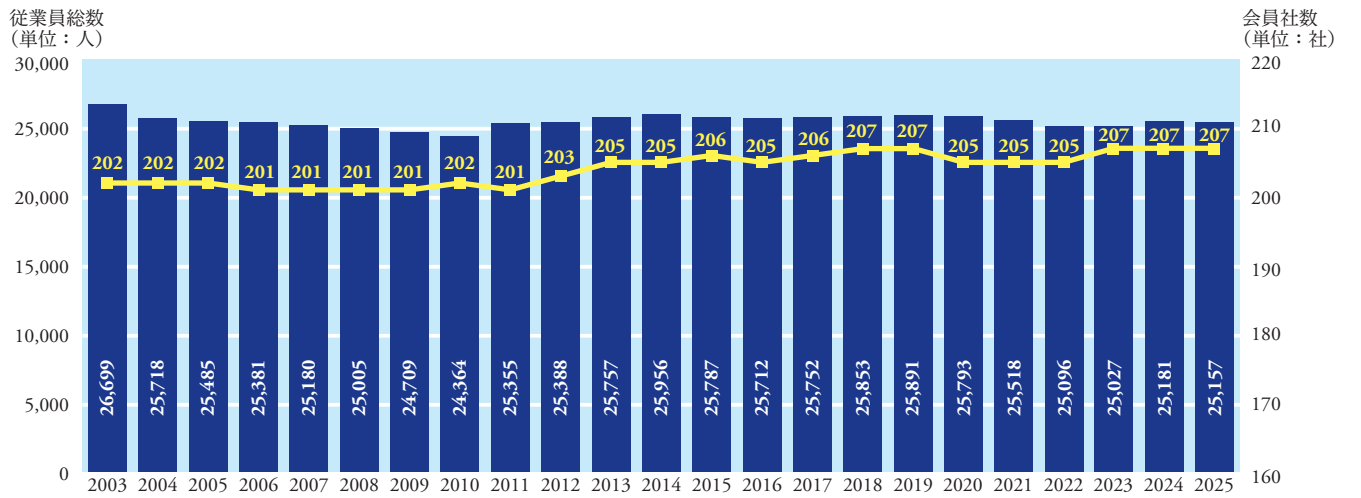
民放連調べ（2025年度民放連会員社決算）

民放の従業員総数



民放連調べ（有期雇用者・社外からの出向者含む）2025年7月31日現在

民放の従業員総数の推移



民放連調べ（有期雇用者・社外からの出向者含む）

【参考】媒体別広告費

媒 体	広告費	広告費（億円）			前年比（％）		構成比（％）		
		2023年	2024年	2025年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年
総 広 告 費		73,167	76,730	80,623	104.9	105.1	100.0	100.0	100.0
マ ス コ ミ 4 媒 体 広 告 費		23,161	23,363	22,980	100.9	98.4	31.7	30.4	28.5
新 聞 雑 誌	新 聞	3,512	3,417	3,136	97.3	91.8	4.8	4.5	3.9
	雑 誌	1,163	1,179	1,135	101.4	96.3	1.6	1.5	1.4
	ラ ジ オ	1,139	1,162	1,153	102.0	99.2	1.6	1.5	1.4
	テ レ ビ メ デ ィ ア	17,347	17,605	17,556	101.5	99.7	23.7	22.9	21.8
	地 上 波 テ レ ビ	16,095	16,351	16,333	101.6	99.9	22.0	21.3	20.3
衛 星 メ デ ィ ア 関 連		1,252	1,254	1,223	100.2	97.5	1.7	1.6	1.5
イ ン タ ー ネ ッ ト 広 告 費		33,330	36,517	40,459	109.6	110.8	45.5	47.6	50.2

（注）株式会社FM802は、FM802およびFM COCOLOの両局を運営。

※は準会員社

（2026年9月1日現在）

出典：電通「2025年 日本の広告費」

役員・組織図

会 長	早 河 洋
副会長	勝田 直樹(北海道放送社長)
副会長	龍宝 正峰(TBSテレビ社長)
副会長	福田 博之(日本テレビ放送網社長)
副会長	檜原 麻希(ニッポン放送社長)
副会長	篠塚 浩(テレビ朝日副会長)
副会長	清水 賢治(フジテレビジョン社長)
副会長	吉次 弘志(テレビ東京社長)
副会長	黒崎 太郎(中京テレビ放送社長)
副会長	今村 俊昭(朝日放送テレビ社長)
副会長	河野 雄一(テレビ西日本社長)

専務理事(常勤)	堀木 卓也
常務理事(常勤)	長谷川 洋
常務理事(常勤)事務局長	本橋 春紀

理 事		
下原口 徹(テレビ北海道社長)	虫明 洋一(MBS社長)	
川口 敦(青森朝日放送社長)	上野 慶子(ラジオ大阪社長)	
福士 千恵子(テレビ岩手社長)	大橋 善光(読売テレビ放送会長)	
尾崎 和典(福島中央テレビ社長)	岡 宏幸(関西テレビ放送社長)	
唐島 夏生(エフエム東京社長)	二河 伊知郎(日本海テレビ社長)	
浜島 聡(BS朝日社長)	土井 強(テレビ新広島社長)	
川原 泰博(テレビ埼玉社長)	加藤 宏一郎(瀬戸内海放送社長)	
島田 久久(新潟放送社長)	大西 康司(南海放送会長)	
須垣 有司(長野放送社長)	藤田 徹也(テレビ高知会長)	
堀井 猛成(テレビ静岡社長)	佐藤 泉(RKB毎日放送社長)	
森 規幸(チューリップテレビ社長)	森 君夫(九州朝日放送社長)	
松波 啓三(CBCテレビ社長)	酒巻 和也(福岡放送社長)	
林 泰敬(東海テレビ放送社長)	榎木田 朱美(テレビ宮崎社長)	
清水 伸司(名古屋テレビ放送社長)		

監 事		
友岡 新(仙台放送社長)	竹内 圭介(熊本朝日放送社長)	
西川 忠雄(びわ湖放送社長)	渡邊 敬夫〔公認会計士〕	

(2026年9月1日現在)



2025年 日本民間放送連盟賞受賞一覧

【ラジオ グランプリ】

文化放送:文化放送開局記念 昭和100年スペシャル
「ドンとモーグリとライオンと ～やなせたかし 名作前夜」

【ラジオ 準グランプリ】

中国放送:消えゆく声・ヒロシマを継ぐこと

●ラジオ グランプリ候補番組

エフエム青森:ラジmoTT!
東海ラジオ放送:オールドルーキー
東海ラジオ放送:魔法が解けるまで～その日限りの鍵盤～
京都放送:岸野雄一の～民謡でヨイショ!～
ラジオ大阪:明日に寄り添う～訪問介護の現在と未来～
九州朝日放送:MANDAN

日本民間放送連盟はこれまで、日本民間放送連盟賞(民放連賞)と日本放送文化大賞(文化大賞)の2つの賞を実施してきましたが、2018年から両賞を一本化し、新たな日本民間放送連盟賞(民放連賞)として実施しています。
番組部門では、学識経験者等による選考を経た質の高い作品を、あらためて視聴者・聴取者という別の視点から選考を行い、国民の期待に応えるとともに放送文化の向上に寄与した作品をグランプリとして称揚します。
受賞作品は、多くの人々に視聴・聴取される機会を設けるために、原則として、受賞後3カ月以内に全国放送を行います。

【番組部門】

●ラジオ報道番組

最優秀 中国放送:消えゆく声・ヒロシマを継ぐこと
優 秀 山形放送:農なき国の食なき民～時給10円、消える農民～
文化放送:文化放送報道スペシャル「全生園の終」
エフエムラジオ新潟:FM HEADLINE Today's Pick Up ～拉致問題を考える～
福井放送:FBCラジオ報道特別番組 殺人犯の烙印は消えるのか
～前川彰司さん38年の闘い～
ラジオ大阪:明日に寄り添う～訪問介護の現在と未来～
琉球放送:RBCラジオスペシャル 我が子を亡くすということ
～コザ高空手部主将自死問題～

●ラジオ教養番組

最優秀 文化放送:文化放送開局記念 昭和100年スペシャル
「ドンとモーグリとライオンと ～やなせたかし 名作前夜」
優 秀 青森放送:あなたと見た風景 ～目の見えない初江さんと時のうつろい～
信越放送:SBCラジオスペシャル いじめの授業 副島淳と考える
東海ラジオ放送:オールドルーキー
朝日放送ラジオ:ダウン症で、幸せでした。～10年追いかけてわかった幸福の秘密
RSK山陽放送:中四国ライブネット 岡山発 マモちゃんラジオ
～みんなで守ろう黄色い道～
RKB毎日放送:障がいの者のきょうだい～心の重荷をおろして～

●ラジオエンターテインメント番組

最優秀 京都放送:岸野雄一の～民謡でヨイショ!～
優 秀 青森放送:RAB耳の新聞スペシャル 寄宿舎放送クラブ
ニッポン放送:ニッポン放送開局70周年記念ラジオドラマ『マミーロード』
山梨放送:富士オデッセイ ～幻のロックフェスが見た夢～
東海ラジオ放送:魔法が解けるまで～その日限りの鍵盤～
南海放送:ラジオドラマ「十円易者・村上桂山 ～二百万人を占った男～」
ラジオ沖縄:それ行け! 民謡酒場2024 ～仲秋の宴～

●ラジオ生ワイド番組

最優秀 九州朝日放送:MANDAN
優 秀 エフエム青森:ラジmoTT!
TBSラジオ:土曜ワイドラジオTOKYO ナイツのちゃきちゃき大放送
山梨放送:はみだし しゃべくりラジオ キックス
東海ラジオ放送:Saturday Flavor Special「東海」は誰のもの?
FM802:on-air with TACTY IN THE MORNING
広島エフエム放送:Mash The Radio

●テレビ報道番組

最優秀 CBCテレビ:評価不能ア ワクチンの影
優 秀 山形放送:時給10円という現実～消えゆく農民～
フジテレビジョン:1995 ～地下鉄サリン事件30年 救命現場の声～
静岡放送:SBSスペシャル 無限の檻～袴田巖さんと再審～
朝日放送テレビ:ABCドキュメンタリースペシャル 見えない傷あと
～JR脱線事故20年～
広島テレビ放送:WATCH「テニアン」
鹿児島テレビ放送:警察官の告白～鹿児島県警情報漏洩事件を問う～

●テレビ教養番組

最優秀 北海道テレビ放送:HTBノンフィクション「生ききる ～俳優と妻の夜想曲～」
優 秀 テレビ東京:日曜ビッグバラエティ テレビ東京開局60周年特別企画
日本⇄南極35000km! 南極観測船“しらせ”に乗せてもらいました!
静岡放送:笑って生きる一生～私が活きる場所～
富山テレビ放送:雲上の除雪隊～アルペンルートの春～
サンテレビジョン:証言1.17～被災局のあの日 そして未来へ～
中国放送:ヒロシマの記録―“地上の地獄”は映像に遺された―
鹿児島テレビ放送:負けたタマルカ!!

●テレビバラエティ番組

最優秀 朝日放送テレビ:ちょいバラ 濱田祐太郎のブラリモウドク
優 秀 山形放送:勝手にタイムスリップテレビ 昭和と小僧3
今世紀最後の!? 昭和100年直前SP
テレビ東京:出沒! アド街ック天国 祝! 放送1500回 アド街の30年 BEST30

【テレビ グランプリ】

静岡放送:SBSスペシャル 無限の檻～袴田巖さんと再審～

【テレビ 準グランプリ】

朝日放送テレビ:ちょいバラ 濱田祐太郎のブラリモウドク

●テレビ グランプリ候補番組

北海道テレビ放送:HTBノンフィクション「生ききる ～俳優と妻の夜想曲～」
TBSテレビ:ライオンの隠れ家
富山テレビ放送:雲上の除雪隊～アルペンルートの春～
CBCテレビ:評価不能ア ワクチンの影
中京テレビ放送:ヒューマングルメンタリー オモウマイ店
関西テレビ放送:アンメット ある脳外科医の日記

静岡放送:アナタは知らない…ギョーカイ知名度100%?さん
中京テレビ放送:ヒューマングルメンタリー オモウマイ店
テレビ新広島:TSS開局50周年記念特別番組「クイズ! 正解はこども」
RKB毎日放送:ハカタの王様 福岡センバツしんごい通学路選手権2025

●テレビドラマ番組

最優秀 関西テレビ放送:アンメット ある脳外科医の日記
優 秀 TBSテレビ:ライオンの隠れ家
日本テレビ放送網:ホットスポット
テレビ朝日:テレビ朝日開局65周年記念ドラマプレミアム 終りに見た街
WOWOW:連続ドラマW 災
テレビ大阪:それでも俺は、妻としたい
沖縄テレビ放送:沖縄テレビ放送開局65周年特別番組
「おきなわテレビはじまりものがたり」

【CM部門】

※CM部門の各作品のタイトルは、「広告主名(非商業スポットは省略)商品名/作品名(秒数)」の形で掲載。

●ラジオCM第1種(20秒以内)

最優秀 静岡放送:笹田学園デザインテクノロジー専門学校 企業CM/「野球」篇(20秒)
優 秀 エフエム東京:聖教新聞社 企業CM/「どんぐり(20秒)
静岡放送:南食品 企業CM/「しりとり」篇(20秒)
北日本放送:日本海ガス ガス衣類乾燥機 乾太くん/乾太くん 雨の日 篇(20秒)
MBSラジオ:大阪ガス ツナガルde警報器 スマびこ/スマびこ「フラレる」篇(20秒)
朝日放送ラジオ:カクヤス 企業CM/「飲み方の味方」篇(20秒)
朝日放送ラジオ:中央軒 企業CM/「Chuoken を Aishiteru」篇(20秒)

●ラジオCM第2種(21秒以上)

最優秀 文化放送:自社媒体PRスポット/広告のホンネ 篇(40秒)
優 秀 秋田放送:自社媒体PRスポット/
日本語翻訳講座秋田弁 篇 けがにだけぐなるがらがね(75秒)
ニッポン放送:公共キャンペーン・スポット/
ラジオ・チャリティ・ミュージックソン「夜の海」篇(90秒)
ニッポン放送:公共キャンペーン・スポット/特殊詐欺撲滅「二人組詐欺」篇(100秒)
エフエム東京:自社媒体PRスポット/そこにいること(65秒)
静岡エフエム放送:公共キャンペーン・スポット/防災、始めませんか?(100秒)
朝日放送ラジオ:中央軒 長崎皿うどん/「Give me ギミック」篇(120秒)

【技術部門】

最優秀 日本テレビ放送網:3Dスキャンワークフローの簡易化とその活用
優 秀 日本テレビ放送網:特殊カメラを用いたゴルフ打球軌跡リアルタイム描画
システムの開発
テレビ朝日:AIを用いた放送用ヒューマンキーヤーの開発
フジテレビジョン:現行テレビ放送を対象とした放送ターゲット広告技術
(ISDB版TA)と偽広告対策技術の開発
中京テレビ放送:多機能送り返しシステム「MRET」の開発
毎日放送:現場の“思いつき”を内製化 生放送中にクラウドから瞬時に映像活用
クラウドリプレイシステム
朝日放送テレビ:クラウドライブプロダクションプラットフォームの開発
技術奨励賞 テレビ静岡:AWSを活用したマスター運行支援システムの自社開発

【特別表彰部門】

●青少年向け番組

最優秀 南海放送:タコガール!! ～わたしの中のものなか～
優 秀 テレビ朝日:題名のない音楽会 60周年記念企画
山田和樹が育む未来オーケストラの練習会
信越放送:SBCスペシャル 本田先生のこころ診療室～発達障害のこどもたち～
長野放送:NBSフォーカス信州 太一の光～全盲ストライカーの見つめる世界～
読売テレビ放送:グッと! 地球便

●放送と公共性

最優秀 東日本放送:旧優生保護法 強制不妊手術をめぐる一連の報道
優 秀 北海道放送:アイヌ差別に関する一連の報道
青森朝日放送:シリーズ「還暦で歩む医師の道」
関西テレビ放送:冤罪を生む刑事司法の壁に挑む検証報道
RKB毎日放送:BC級戦犯に関わる報道